

事業主体	北九州市（担当課 建設局道路部街路課）
事業実施場所 及び規模	都市計画道路 戸畑枝光線 戸畑区大字戸畑～八幡東区東田五丁目 延長4,350m 幅員18m（代表幅員）
工事期間	平成23～36年度
環境配慮の 背景・目的	<p>本事業は、北九州高速2号線戸畑出入口と同5号線枝光出入口を結ぶ自動車専用道路を整備するものであり、本市の自動車専用道路ネットワークの構築を図る極めて重要な事業である。</p> <p>本事業のような幹線道路の整備によって、並行路線の渋滞解消、ランプ10分圏域の拡大等が図られ、自動車排出ガスの削減が期待できる。</p> <p>ただし、市街地、住宅地を通過する計画であることから、計画・設計にあたっては事業地周辺の環境へ与える影響が最小限となるものとする事が求められている。</p>
環境配慮の内容	
<p>1 戸畑枝光線の整備によるCO2 排出削減効果</p> <p>2. 1千t／年 （県道八幡戸畑線の渋滞解消など並行路線の交通量減少量より算出）</p> <p>2 西戸畑地区での地下構造採用 西戸畑地区は、戸畑駅の北口を有する交通結節点であるとともに、周辺が住宅地、市街地である。このため、同地区では地下トンネル構造を採用することで、道路建設による地域の分断、自動車騒音、排気ガスによる周辺環境の悪化に対する配慮を行った。</p> <p>3 牧山地区での低盛土構造採用 牧山地区は、現況の土地利用が工場であり、汚染土壌が存在する可能性がある。このため、同地区では、現地盤上に路床、路盤を構築する低盛土構造を採用することで、工場であった土地からの土の搬出を行わずに建設工事を行えるよう配慮を行った。</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排水性舗装を採用 ・ 切土・盛土のバランスをとり、残土発生量を抑制 ・ プレキャスト工法等、現場作業の省力化を図り、建設副産物の発生を抑制 ・ リサイクル資材や環境配慮型の土木製品を採用 ・ 省エネルギー型の道路照明灯を採用 <p>※ 本事業は、平成5年度の都市計画決定時と平成11年度の一部構造変更時に環境アセスメントを行っている。（当時の路線名：都市計画道路戸畑大谷線）</p>	